

瓜破工場 折部門

ホ ヴィエット

サン

HO VIET SANG

旭紙工にはたくさんの方の技能実習生がいます。2019年8月に仲間に加わり、現在活躍しているのが、今回ご紹介するサンさん。なぜ当社に入社したのか、そして仕事に対する思いなどを伺いました。



まずは入社後のきつかけと、現在のお仕事内容について教えてください。

前職は、ベトナムの会社で機械の操作をしていました。そこから日本で働きたいと思い、ベトナムのPTMセンターで橋野社長と出会いました。面接は日本語で話したことを覚え

ています。

日本にきてから最初に訪れたのが旭紙工で、会社の綺麗さに驚きました。また、皆さん優しく、良い人ばかり。現在は無線の折部門で働いており、毎日機械をセットして、チェックをしています。

当社で仕事を継続できた最大の要因はなんですか？

この仕事が好きだということです。私はこれまでいろいろなことをしてきましたが、これからもっといろいろな勉強をしていきたいと思っています。

— そのようなサンさんにも、挫折経験などはありますか？

入社してすぐ、マルチ部門で不良品をたくさん出してしまったことがありました。チェックをすることにも時間がかかり、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

— やりがいを感じる瞬間はどんなときですか？

機械をセットしてから不良品がなかったときです。

— 当社の良いところはどんなところでしょうか？

— ルールが良いと思います！

— 最後に、今後の目標をお願いいたします。

機械のセットをもっと上手になります。そのために色々なことを勉強したいと思います。

仲間にも恵まれ、「仕事が好きだ」と語るサンさん。さらに経験を重ねて成長するサンさんに期待です！



Message For You

今回表紙を飾ったサンさんへ向けてのコメントを上司である折部門課長 寺山幸作 さんより頂きました！

主に折機と、カレンダーシーズンではタンザックを見られています。機械センスが有り、セットやトラブル対応を任せられる人物です。自分で作業しながらも、他の忙しそう機械やメンバーのサポートも行っているため、とても頼りになります。今後は更に機械技術を高めてもらい、他のメンバーに指導する側になっていただきたいと思います。

企業情報

- ◆ 創立年：1983年1月
- ※ 創業：1963年
- ◆ 年商：17億円
- ◆ 従業員数：200人

部署紹介

Department Introduction

Special

第50号から連載してきた部署紹介の第2弾。これまで、4年前に掲載した第1弾からの変化をご紹介してきました。この4年の間には世界に大きな影響をもたらした新型コロナウイルスの大流行があり、当社も大きな影響を受けることに。それでも今があるのは、皆さんがそれぞれの持ち場で奮闘した結果です。今回はこれまでの総まとめとして、当社全体の4年間の変遷に迫ります。

4年間の歩み

2020年

新型コロナウイルスの発生と感染拡大による危機に直面

一番コロナの影響を受けた年で不安な毎日。また、研修生も母国へ帰ることができませんでした。苦しい状況の中でも瓜破工場では本部長指導のもと、「工場を明るくしよう」と掃除をしたり壁に絵を描いたり、他工場・部署でも声をかけあったりして乗り越えられました。



折り部門



折り部門



マルチ部門

2021年

目の前のことに懸命に!

止まっていた研修生の受け入れが少しずつ再開した年です。この流れは現在も続いています。2021年も引き続き苦しい時期ではありましたが、営業部の頑張りのおかげで結果を残せた年でした。売上げが現在上がっているのはこの時期に全員が諦めず、目の前の仕事に取り組んだ結果だと思っています。一人ひとりの一生懸命な行動がこうやって結果に結びついているのではないのでしょうか。



瓜破工場

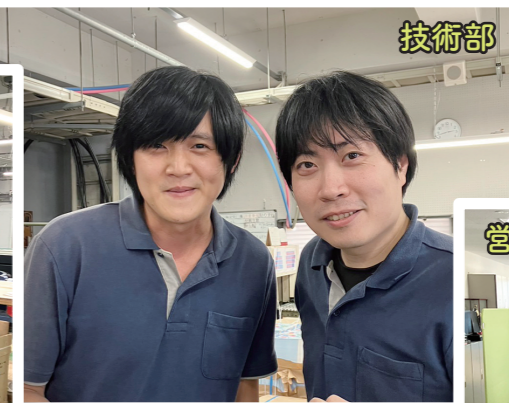
総まとめ

旭紙工の4年間の追う!

~新型コロナウイルスを経て~



無線綴じ部門



技術部



営業本部

2022年~2023年

生産数が徐々に戻る

各部署で助け合ったり、新たな受注もあったりしたことで、コロナ禍前の状態に。皆さんの頑張りが徐々に結果に表れた年になりました。



断裁部門



中綴じ部門



管理本部



品質検査室



営業本部



品質検査室

最後に

社員が互いに助け合い強い絆で苦難を乗り越えてきたからこそ、今の当社があります。激動の日々を乗り越えた我々は、4年前よりも強い組織になっているはずです。この特性を活かして、今後も一丸となって進んでいきましょう!